

イエス様は、ご自分から私たちの住む世界に来てくださり、私たちの間に、私たちのうちに、共に住んでくださるお方です。神であるイエス様は、私たちの喜び、悲しみのすべて、私たちの生涯のあらゆる経験を分かち合ってください。まさに今、抱えている苦しみを、心の傷と痛みを、人知れず感じている孤独や疲れを正直に打ち明けて、イエス様を本気で呼び、助けを求めるその声に必ず応えてくださいます。…事実、あなたにとってイエス様は現実の方であり、苦しみや悲しみの根っこにある罪を赦し、今ある問題について本当に必要としている解決と癒しを与えて下さいます。このことを信じて、心に主イエス様をお迎えしましょう。

クリスマスの喜びは、「神が私たちとともに居てくださる」この事実に目を向ける者に与えられるものなのです。



連載



聖書を読んだサムライたち

もうひとつの幕末維新史

守部 喜雅【著】

第三章・

自由民権運動の嵐の中で

②

立志社における直寛の言論活動のなかで、歴史的評価をされているのは、「日本憲法見込案」の起草に参加したことでしょう。彼が起草に参加したことで、彼が起草に参加した「日本憲法見込案」は実に進歩的で、国会の権利を内閣より強くしたことや、国民の基本的人権、たとえば、悪しき政府に対する抵抗権や、制限付きでない信教の自由の権利などを明示した点は、今日でも、高く評価されています。また、政党に

おけるセクト主義や官僚主義の弊害をいち早く問題にしたのは直寛でした。その官僚主義批判の精神は、北海道における後半生でも衰えを見せませんでした。

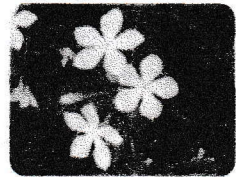
しかし、直寛らが指導した自由民権運動は一八八二(明治十五)年をピークにあいつぐ政府の弾圧や懐柔によつてその輝きを失っていきます。そうした状況の中で、自由民権運動と新しく海外から入って来たキリスト教がその距離を縮めていくのです。ここに坂本龍馬との関連で、大変興味深い物語があります。

立志社はすでに一八七五(明治八)年、ロシア正教の信徒であった沢辺琢磨を九反田にあった立志社に招いて耶蘇教演説会を開いています。沢辺琢磨は幼名を数馬といい、坂本龍馬の父方の親戚にあたります。一八五七(安政四)年、沢辺が龍馬に助けられた事件が起こりました。

《続く》

ニチニチソウ

日日草・日々想



くクリスマスとアンパンマン

アンパンにいのちの星が入ること
で誕生した正義のヒーローアンパン
マン。「アンパンマンエイジ」という言
葉があるほどに、小さな子どもがみん
な大好きなアンパンマンは、それだけ
不思議な魅力があるのだと思います。
今や国民的キャラクターとして親し
まれ、言葉の始めに「パパ、ママ」
とほぼ同時期に登場する単語として
上位に挙げられる名前であるとも言
えるでしょう。

アンパンマンの作者やなせたかし
さんは、戦争体験を通して「本物の正
義とは何か？」を考え抜く中で「正義
のための戦いなんてどこにもない。正

義はある日突然逆転する。しかし逆転し
ない正義もある。それが献身と愛。困つ
ている人に一切れのパンを差し出す愛
と勇気のこと。」という考えに至ったそ
うです。絵本のあとがきに「本物の正義
というものは、決して格好のいいもので
はないし、そしてそのために必ず自分も
深く傷つくものです。」と述べられてい
る言葉を読んでも、実に聖書的な正義に
対する理解が、アンパンマンの姿に描か
れているのだなあと思わされます。

自分の敵と戦う力が弱くなることを
分かった上で、目の前にいる相手を助
け、カブけるために、自分の頭を差し出
して食べさせてあげるお決まりのスト
ーリーは、その中心に自己犠牲の愛があ
り、それこそがアンパンマンのヒーロー
性かつ大きな魅力なのだと思います。

自分の痛みと引き換えに、誰かのため
に自分の持てるものを差し出す姿、「愛
けるよりも与える方が幸いである」とい
う聖書のみことばを体現しているアン
パンマンに、私はイエス様のお姿を重ね
見るのです。そして、そのイエス様のお

誕生をお祝いするクリスマスに、あのア
ンパンマンの歌を思い出します。

「そうだ 嬉しいんだ 生きる喜び
たとえ胸の傷が痛んでも 何のために
生まれて 何をして生きるのか 答え
られないなんて そんなのは嫌だ…何
が君の幸せ 何をして喜ぶ 分からな
いまま終わる そんなのは嫌だ…」

歌詞をじっくり味わうほどに、小さな
子どもたちが明るく元気に歌うイメー
ジよりも遙かに深い意味を考えさせら
れ、そこに込められた思いを感じます。
不安や不満ばかりが人の心を支配し
て心が荒れずさんでいくような中にあ
って、「ぼくの頭を食べて」と差し出す
アンパンマンの笑顔が、人々に愛と勇気
を与えるように、命を投げ出して愛して
下さったイエス様は、まさに私たちの生
きる意味と喜びを与え、本当の正義と幸
せが何であるかを教えて下さるお方な
のです。

そう言えば、アンパンマンはサンタク
ロースのような赤い服を着ているな…
とクリスマスに重ねて思うのでした。

Merry Christmas

メリークリスマス



教会では、今年もクリスマスをお祝いします。
 社会全体が、一人一人の暮らしが大きく揺れ動き、
 闇が浮き彫りになった一年であったと言えるかもしれません。
 すべての人を照らすまことの光であるイエス様のお誕生を
 共にお祝いし、心に平安と希望を頂きましょう。
 ぜひ、教会へお越してください。神様の祝福があります。



★日曜礼拝 (コロナ対策のため、少人数・短時間での
 分散・二部形式に変更しています。)

毎週日曜 朝 ① 9:30~10:30
 ② 11:00~12:00

★クリスマスイブ礼拝

24日(木) 18:00~19:00

場所：小海キリスト教会 (小海4355-27 見晴台)

*会堂に入られる際、マスクの着用、手指消毒、検温にご協力ください。

生活困窮者支援

山谷(やま)農場

1年の感謝を込めて

支援して下さったお一人お一人の上
 に、神様の豊かな祝福がありますように。
 必要としている方々に食料が届けられ、
 この年末年始を過ごすことができま
 う、お米、海苔、切手、ハガキ等、物資の提
 供をどうぞよろしくお願い致します。

〈連絡先〉藤田 寛

☎ 090・1436・6334

FAX 042・786・2088

メール nyoro@beige.ocn.ne.jp

〈物資送付先〉小海キリスト教会、または、

南牧村社協へ。〒384-1302南牧村大

字海ノロ966-15南牧村社会福祉協議会

気付 山谷農場事務局(藤田)

*着払い送付はご遠慮ください。

*土曜日の配達指定でお願いします。

カンパ：〒振替〇〇二四〇四一五三七九

☆活動の近況などは、山谷農場フェイス
 ブックをご覧ください。

